

## 進捗状況の概要（1ページ以内）

## 1. 令和2年度の実績

令和3年度への事業開始に向け、次のような取組を実施した。

- (1) 事業採択と教職員への事業周知
- (2) 「吉備の杜」創造戦略プロジェクト推進本部会議の設置
- (3) プロジェクト推進スタッフ体制の整備
- (4) 学内諸規定の整備
- (5) 事業協働機関との協定の締結及びキックオフ・シンポジウムの開催
- (6) 県内企業・団体のPBL演習受入先開拓、リカレント教育PR、令和3年度の学生向オリエンテーションの準備

## 2. 令和3年度の実績

- (1) 教育プログラムとして、計画していた3つのサテライトプログラムと大学院クロスセクションを計画通り19科目を開講し、計画した履修実人数126名に対し362名(287%)と好調な実績であった。
- (2) 学外履修者については、16の企業等から延べ70名の実績であった。
- (3) 大学院を対象としたPBL演習は、21の企業等に38名の参加があった。
- (4) 教育プログラムに関与する企業・団体数は、計画40社に対し実績50社(125%)であった。
- (5) 令和4年度に第1期生の創造戦略プロデューサーの称号授与を予定していたが、早くも令和3年度に3名を輩出できた。
- (6) ホームページの開設や月2回発信するSNS(Facebook、Instagram)、全学生・全教職員、事業協働機関等、PRに向けて年2回発行する広報誌の配布、プレスリリースおよび事業成果報告と広報を兼ねたシンポジウムの開催等、攻めの広報活動を展開した。

## 3. 令和4年度の実績

- (1) 教育プログラムについて、前年度の19科目に加えて新たに4科目を開講し、実人数で409名(計画の325%)の履修があった。特に他大学より23名がオンデマンドで参加した。
- (2) 社会人の学外履修者は、17企業等から延べ121名の参加があったが、修了率は61%であった。
- (3) PBL演習については、本年度より学部4年生を対象とした未来型プロジェクトを開講し、従来の大学院生とあわせて26企業に36名が参加した。
- (4) 教育プログラムに関与する企業・団体の実績は57社であり、前年度を上回った。
- (5) 予定した事業を全て実施したことにより、サーティフィケートとして創造戦略プロデューサー3名、地域創生クリエイター11名に授与した。
- (6) 本プログラム履修者の県内就職者は77名の実績を得ることができた。

## 4. 令和5年度の実績

- (1) 教育プログラムについて、大学院生を対象としたクロスセクションの科目を、6科目から13科目に増設し、カテゴリー化することでリベラルアーツ教育として充実を図った。
- (2) 教育プログラムへの学内履修者の実人数は、324名であった。また、他の参加校からは対面を含め13名の履修があった。
- (3) 社会人の学外履修者については、16企業等から実人数157名の履修登録があった。延べの履修者は199名で内130名が修了し、修了率は65%であった。
- (4) PBL演習について、21企業等で44名の学生が参加し、11月14日に成果報告会を行い、全員が演習成果の発表を行い、演習を修了した。
- (5) 教育プログラムに関与する企業・団体の実績は、55社であった。
- (6) 県内就職者数は、昨年度と同数の77名であった。
- (7) 2月21日に、地域社会と連携した人材育成をテーマに本学講堂でシンポジウムを開催し、学外を含め146名の参加があった。また、終了後、参加者による交流会を開催し、テーマの深掘りを行った。

## 5. 令和6年度の実績（6月末時点）

- (1) 教育プログラムについて、子ども学科の参加を促す目的で、「表現活動研究」を科目追加し、19名の履修登録があった。
- (2) 学内の履修登録者は、実人数で322名、延べで614名であり、例年同様に高い履修状況となっている。
- (3) PBL演習については、14企業等に26名の学生が参加し、演習を開始している。